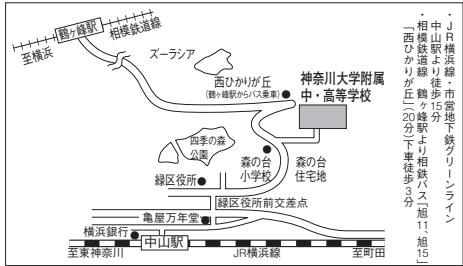


神奈川大学附属高等学校

〒226-0014 神奈川県横浜市緑区台村町800 TEL045-934-6211 学校長 小林 道夫



〈URL〉<https://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/>

沿革 1985年開校。男子校としてスタートし、1988年共学に移行。2004年度に併設型中高一貫校に移行し、2024年度、開校40周年。

校風・教育方針

建学の精神である「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」を体現する人材を育成します。人間形成のなかでもっとも大切な中学・高校の6年間において、「学び続ける生徒」を育む学校として、教科学習とともに、先進的な教育あるいは体験を重視したプログラムなど幅広い学びの機会を用意します。それらをもって、知力と人間力を養い、グローバルな視座から社会で活躍し、社会に貢献できる人間に成長していく。その人間性の土台をつくります。

また、「のびのびのとした校風」を堅持し、生徒の希望を確かに実現する「高い進学実績」とともに、信頼感のある「地域で一番の中高一貫共学校」を目指します。

カリキュラムの特色

●6年間を通して

中学段階では、英語、数学、国語の時間数を増やしながらも、実技教科も含めてバランスよく学びます。英語と数学の授業は、中1・2では少人数授業、中3・高1では上位クラスを設置する習熟度別の授業を展開することで、きめ細かいサポートとともに上位層の伸長も図ります。中3・高1の「探究の時間」では、自分たちで「問い」を立て、研究方法を学びながら、主体性や協働性



を磨きます。「探究の時間」を通じて「何を学び、なぜ学ぶのか」に向き合うことで、自らの進路につなげていきます。高2よりコース制（Ⅰ型：最難関国立大、Ⅱ型：難関国公立・私立大）を導入し、同じ目標を持つ仲間同士、互いを高めあう集団づくりをし、大学受験を「団体戦」と捉え、受験に挑む確かな学力と精神力を涵養します。

●「学び続ける生徒」を育てるために

1人1台タブレットPCを持ち、授業はもちろん、学習管理システムを活用した自己管理や探究活動を通じて、生徒の主体性と協働性を引き出しています。ICTの活用により、学力とともに社会で求められる資質と「力」の土台を形成します。グローバル教育のプログラムとして海外研修（中1～高2希望者）やBreakthrough English Camp(中学)などがあります。いずれも、自分と世界との関わりを自覚し、多様な他者との交流を通じて「自分は何者なのか」「どうあるべきか」を考えることを意図したものです。

Information

海外大学への進学も将来の選択肢に！
海外大学推薦制度を導入

e-learningシステムの採用に伴い、3つの海外大学推薦制度を導入し、一定の条件を満たした生徒に対して、海外大学への進学を支援します。この制度は、英米豪など9カ国60以上の海外協定大学へ推薦での進学が可能になるもので、グローバルな進路選択ができます。2025年度入試では計6大学に延べ7人が合格しました。

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



3学期制

登校時刻 8:20

昼食 弁当持参、売店、食堂

土曜日 授業

●放課後自習室学習支援プログラム

放課後、中1から高3まですべての生徒が、校舎の4号館をまるごと自習室として利用することができ、必要に応じてティーチングアシスタントのサポートを受けられます。中学生は「部活動の後に復習・宿題を学校で完結させる」ことができ、高校生は「部活動等と両立しながら、自らの進路実現に向けて、学校でとことん取り組む」ことができる、「学校完結型・自律型」の学習環境となっています。

環境・施設設備

閑静な住宅が並ぶ高台に位置し、豊かな緑に囲まれた東京ドーム3.7個分の広大なキャンパスと清々しい空気の中、充実した施設・設備が整えられています。校舎は耐震構造になっており、全教室にも冷暖房・Wi-Fiを完備し、窓ガラスには飛散防止フィルムが貼ってあります。人工芝のサッカー場と陸上グラウンドや、野球場・テニスコートなどの屋外運動施設には夜間照明も完備しています。

生活指導・心の教育

相手の立場に立ち、ルールはもちろん社会に生

きる人としての思いやりやモラルを大事にし行動する「KUプライド」を育む生活指導をします。中2では、視覚に障がいのある方による講演とアイマスク体験を通し、日々の困りごとへの理解を深め、どのようにサポートできるかを考えます。中3では、新生児医療に携わる外部講師による「いのちの授業」のなかで、命の尊さを学びます。

学校行事・部活動

中1 横浜・鎌倉探究、中2 横浜探究、中3 奈良・京都修学旅行、高1 沖縄修学旅行、その他に古典芸能鑑賞、ミュージカル鑑賞などを行っています。

また、中1から高2の希望者対象の海外研修には、①入門型（ニュージーランド）②問題解決型（ベトナム）、③語学型（フィリピン）、④国際交流・文化体験型（イギリス）の4つのプログラムがあります。

文武両道を目指し、部活動も活発です。運動部は、野球、バスケット、バレー、硬式庭球、サッカー、陸上競技、水球、なぎなた、剣道、卓球。文化部は、理科、音楽、美術、囲碁・将棋、技術家庭、演劇、社会科研究、漫画研究があります。

データファイル

■2026年度入試日程

中学校

募集人員	出願期間※	試験日	発表日	手続締切日
1回 60	1/7～2/1	2/1午後	2/1	2/3
2回 120	1/7～2/2	2/2	2/2	2/3
3回 20	1/7～2/4	2/4	2/4	2/5
帰国生 若干	12/1～12/17	12/22	12/22	1/6

高等学校 募集を行っていません

■2026年度選考方法・入試科目

中学校

1回：国・算 2・3回：国・算・理・社

帰国生：英・算

〈配点・時間〉国・算・英＝各100点50分 理・社＝各75点40分〈面接〉なし

■2025年春併設大学への内部進学状況

内部推薦制度があります。他大学受験希望者に対しては、神奈川大学との併願が認められています。神奈川大学→10（国際日本1、人間科2、工3、建築2、化学生命1、経済1）

■指定校推薦枠のある主な大学

横浜市立大 東京都立大 早稲田大 青山学院大

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

中央大 法政大 明治大 立教大 国際基督教大 東京理科大 学習院大 北里大 昭和薬科大など

■2025年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
202人	170人	0人	0人	4人	0人	28人

■2025年度入試結果

中学校 男／女

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
1回 60	414/374	381/358	170/143	2.2/2.5
2回 120	467/395	381/305	135/90	2.8/3.4
3回 20	272/300	148/159	15/24	9.9/6.6

（学校説明会）要予約

対象学年の制限あり

学校説明会 10/4 11/8 1/10 1/17 3/21

入試説明会 10/4 10/22 11/15 11/26

帰国生入試説明会 10/4 10/22

学校見学会 12/13

（見学できる行事）

くすのき祭 10/18・10/19

※詳細は学校ホームページをご覧ください